



文化博物館だより

第561号

2020年10月7日

今回の博物館だよりは、開催中の企画展「明石藩の世界Ⅷ—米と酒づくり—」の関連イベントと、「第3回 あかし若手アートチャレンジ」についてお届けします。

「はじめての古文書講座」を開催しました～企画展「明石藩の世界Ⅷ—米と酒づくり—」（9月27日）



古文書講座のようす

企画展「明石藩の世界Ⅷ—米と酒づくり—」で実際に展示している古文書から、内容を読み解く古文書講座を開催しました。毎年開催しているたいへん人気の講座です。

くずし字の辞典の引き方や読み方のコツ、特にくずして書かれることの多い文字などを紹介しながら、講座を進めました。なかにはご自分のくずし字辞典を引きながら講座を受ける方などもいらっしゃり、みなさん非常に熱心に受講されていました。



色々なくずし方があるので読み解くのが大変です

「講演会」を開催しました～企画展「明石藩の世界Ⅷ—米と酒づくり—」（10月3日）

講演会を開催しました。前半は加藤明恵氏（神戸大学大学院人文学研究科特命助教）を講師にお迎えし、「江戸時代における明石の酒造業と経営」についてお話しいただきました。

明石藩領内の酒造家ごとの酒造株高帳、鑑札、明石藩の酒造家仲間に関する史料などから、今回はト部八兵衛家を取り上げてお話しくださいました。後半は加納亜由子



加藤氏の講演会のようす



加納学芸員の講演会のようす

（明石市文化振興課）が「明石藩士がみた藩領の村々と米・年貢」について講演しました。重臣黒田長棟が集めた年貢米の収穫量を増やすための仕法案についてや、明石藩の蔵米の約15%を灘の酒蔵が買い付けていること、明石藩の財政状況などについてお話ししました。講演会に当選されたみなさんは本展の内容についても理解をより深めていただけたのではないのでしょうか。ご参加いただきありがとうございます。

開幕しました♪第3回「あかし若手アートチャレンジ」10月11日まで



テープカットのようす

打合せを重ね、準備を進めてきた第3回「あかし若手アートチャレンジ」が、開幕しました！

過去2回は台風で開会式ができませんでしたが、今回はとても良いお天気の中で開催することができました。

テープカットに参加してくれたのは今回のチラシポスターのデザインを担当してくれた兵庫県立明石高等学校美術科3年の安座間桜さんです。「若い人達にたくさん見てもらって、愛され



明石南高等学校のギャラリートーク撮影のようす

る展覧会になるように」との願いを込めて作成してくれました。原画も展示しているので、ご覧くださいね。

今回のあかし若手アートチャレンジは明石市立明石商業高等学校、兵庫県立明石高等学校、兵庫県立明石南高等学校、神戸芸術工科大学の総勢58名の高校生・大学生による66点の作品が並んでいます。元気をもらえる作品ばかりですので、ぜひ若いパワーを感じに来てください♪10時～17時、10月11日は15時まで。

企画展「明石藩の世界Ⅷ—米と酒づくり—」

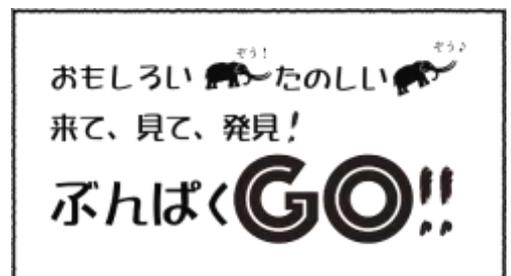
会期：2020年9月12日（土）～10月18日（日）

月曜休館（但し9月21日は開館）

開館時間：9時30分～18時30分（入館は18時まで）

観覧料：大人200円、大高生150円、中学生以下無料

2歳の方からマスクの着用、検温、入館者記録票のご記入をお願いします。



詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>

